

## 【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号

### 運用状況のご報告

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本ファンドシリーズについて直近の状況をご報告申し上げます。

#### 【本通知の要約】

- 貸付先グループ（後述）は営業を継続していますが、深刻な運転資金不足に直面しています。
- 貸付先グループが見込んでいた大口先の売上が生じておらず、既存の小口顧客からの売上のみが収入源となっています。そのため、役職員への給料支払い遅延、および、貸付先グループのデータベースを保守管理する外部サービスベンダーへの支払い繰り延べ要請の事実を確認しました。
- 2023年9月、エストニアグループ会社（後述）は貸付先グループの運転資金不足を踏まえて、貸付先グループが円貨換算で約28百万円を支払えば残債を放棄する内容で条件を見直しました。
- 同月、本営業者は上記約28百万円のおよそ半分を貸付先グループから回収しました。

#### 【出資対象事業の概要】

本ファンドシリーズは、クラウドクレジット・ファンディング合同会社がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdfund Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます）に対して貸付けを行いました。そのうえで、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited（以下「CPD社」といいます）へ貸付けを行いました。CPD社への貸付けに対しては、CPD社の100%親会社で、アメリカ合衆国でセキュリティ事業を行う CAPTIS INTELLIGENCE INC.（以下「Captis社」といいます）が債務保証を行っております。以下では、CPD社と Captis社を合わせて、「貸付先グループ」といいます。

貸付先グループの Captis社は、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースを商品として取り扱うベンチャー企業です。米国の法執行機関(FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など)がそれぞれに保有する犯罪者の顔写真を統合して独自のデータベースを構築し、セキュリティ企業や防犯カメラ製造企業、防犯カメラのシステム管理企業、小売店舗などに納入しています。Captis社のデータベースは顔認証機能付きの防犯カメラと連結され、万引きや強盗といった犯罪の防止および検挙に役立てられます。

## 【前回報告書から現在までの状況】

2023年1月18日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号 運用状況のご報告」<sup>1</sup>でのご報告以降、現在に至るまでの状況は以下の通りです。

### <債権放棄を前提とする条件見直しと、その後の回収>

下記の通り貸付先グループの現金等が枯渇する一方で、貸付先グループの経営者が事業継続の強い意志を持つことから、エストニアグループ会社は、経営者個人の財産売却等で資金を用立てて部分的にでも返済を行うように働きかけました。そして、貸付先グループが用立てられた資金から約28百万円を返済すれば、エストニアグループ会社が残債を放棄する内容で条件を見直しました。

2023年9月20日、エストニアグループ会社は見直し後の条件に基づいて約14百万円を回収しました。同年10月中に残り半分の回収を予定しています。

### <データベースの納入状況>

2022年10月、貸付先グループはセキュリティ事業者IM社と、IM社の顧客にデータベースを提供する大口の契約を結びました。しかし、IM社およびその顧客のデータベース利用がまだ試用段階に留まっており、売上に至っていません。

### <出資交渉の状況>

貸付先グループは事業開始以降、定期的に個人投資家の出資を募っています。現在も複数の個人投資家と交渉中ですが、売上が低迷するなかで出資の確約を得られておりません。

2023年6月、貸付先グループは投資銀行と株式上場支援に関する委任契約を締結し、上場による資金調達も模索しています。しかし、運転資金が枯渇するまでに上場できる目途は立っておりません。

### <貸付先グループの事業運営状況>

貸付先グループは、既存顧客からデータベース利用料金等を定期的に回収しています。加えて、既存株主から少額ずつの資金調達を繰り返しています。しかし、それでも支払いを賄いきれないため、貸付先グループ役員への給料支払の遅延や、データベースの保守管理を委託する主要サービスベンダーに対する費用支払の繰延要請が起り、運転資金の枯渇による倒産リスクが高まっています。

なお、2022年3月、貸付先グループが仲介業者を起用してデータベースまたは事業そのものの売却の検討をはじめた旨をお知らせしましたが、売却先は見つかっていません。

## 【返済見直しおよび今後の対応】

- 上記の通り、貸付先グループの経営者は事業継続に対して強い意志を持っていますが、資金繰りは予

---

<sup>1</sup> [https://platform.crowdcredit.jp/img/blog/upload/upload\\_1674016059.pdf](https://platform.crowdcredit.jp/img/blog/upload/upload_1674016059.pdf)

断を許さない状況です。

- ファンド財産の回収前に貸付先グループが倒産すれば財産の大幅な毀損が見込まれたため、エストニアグループ会社は貸付先グループに対して、約 28 百万円を返済すれば残債を放棄することを約束しました。そのうち、2023 年 9 月 20 日にエストニアグループ会社は約 14 百万円を回収しました。同年 10 月中に残る半分の回収を予定しています。

本ファンドシリーズにおいて報告すべき事象が起きた際には、速やかに投資家の皆様に報告いたします。今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号